

NANTAN

# 119たより

NANTAN  
FIRE DEPARTMENT  
2016

No.



▲消防教室（生野こども園）

## 災害状況



平成28年  
1月20日現在

- ・火災… 2件
- ・救急… 123件
- ・救助… 1件

## 主な内容

## 特集 みんなの町は、みんなで守る！ … 2・3

- ◆ 一日消防官  
消防ふれあい祭り ..... 4
- ◆ 消防出初式  
秋の火災予防運動合同訓練 ..... 5
- ◆ 消防写真館  
消防白書・火災調査レポート ..... 6・7
- ◆ お知らせ ..... 8

# みんなの町は、みんなで守る！



▲避難訓練（たけだ遊友館）

地震や風水害など大規模な災害が発生した場合、消防をはじめとする防災関係機関は全力を挙げて防災活動を行いますが、災害時にはこの防災関係機関の活動は著しく困難になる事が予想されることから、地域住民自らが災害の初期段階で防災活動を行う事が大変重要になります。

阪神淡路大震災のときも、「壊れた家の下敷きになつたが、近所の人たちによつて救出された」という例が多くありました。いざというときに力を発揮できるように、日頃から地域をあげて防災活動に取り組むことが、災害に強いまちづくりの第一歩です。

では、各地区での防災活動は十分に行われているのでしょうか。「みんなの町は、みんなで守る」…今、何をするべきか考えましょう。

## 近年の災害を知ろう

近年、日本列島は頻発する地震に加え、局地的な大雨により被害が出るゲリラ豪雨など、私たちの身近に潜む災害は多種多様です。まずは、災害の種類や被害の程度、最近の傾向など、災害そのものを見る必要があります。

養父市、朝来市では平成16年に台風23号、平成21年に台風9号が発生した際、家屋の倒壊、人的被害、住宅の浸水、ライフラインの供給停止など大きな被害がありました。また、山間に多くの谷が点在している当地域は、災害の範囲が広域になり、土砂崩れなども数箇所発生したため、道路が寸断され、孤立集落になつた地域もありました。

いずれの災害も市役所や消防、自衛隊などが公的支援を行いましたが、人命救助や

それ以上の被害を食い止めるための活動を優先せざるを得なかつたため、最も被害の大きい場所に人員が集中し、すべての被災地域に支援が届くまでには一定の時間が必要となりました。

このように、今後想定外の大規模な災害が発生した場合、公的支援が行き届くまで時間要する可能性があるため、日頃から皆さん一人ひとりの災害に対する準備、近隣者との連携が必要となります。また、それぞれが素早く的確な行動を取るために、一人ひとりが災害に対し正しい知識や技能を持っていることが大切です。



▲平成21年 台風9号による被害(朝来市平野)

## 災害に備えて

う。対応できるようにしましょ

災害を軽減し、被害を最小限にいく止めるためには、地域内の実情を知り、危険箇所や避難ルートを把握するなど、日頃から災害に対する準備をしておきましょう。

地域内の実情を知る手段として、各市が作成している防災マップがあります。このマップにより土砂災害警戒区域や、洪水の際の浸水の深さなどの情報をることができます。自分の住んでいる地域の危険箇所を知ることで、いざという時の避難経路の選択に役立ちます。また、避難場所も日頃から確認し、家庭や地域で話し合つておくことで避難時間の短縮につながります。

災害に対する準備は、非常に持つ出し品の事前準備などがあります。食料品・貴重品・日用品の中から災害時に必要なものは、すぐに持ち出しができるようまとめておきましょう。また、災害時には正確な情報を入手することが非常に大切です。気候変動や異常気象の際は、テレビ・ラジオなどで情報を取り、市役所等から発表される避難情報にすぐに

**災害に備えて**

**1 安全な避難場所の確認**

家族で避難場所を確認しておきましょう。また、避難場所まで安全に通行できるかを確認しておきましょう。

**2 非常持ち出し品の事前準備**

すぐに避難できるように、最低限必要なものをかさばらないように早めに用意しておきましょう。

**3 正確な情報収集と早めの行動**

ラジオ、テレビなどで情報を確認し、危険を感じたら早めに行動しましょう。

地域防災力は、地域の様々な担当者が地域に密着して推進する、自発的で協働的な防災に加え、自主防災組織など地域全体が防災能力を身につけることで地域防災力は一層高まります。

養父市、朝来市では、9月1日の「防災の日」に合わせた一斉避難訓練を行っています。災害時にどのような活動を行うかを検討する重要な訓練です。また、消防本部でも各地区、事業所を対象に消火器や消火栓の取扱い方法、心肺蘇生法や応急手当

地域防災とは、地域の様々な担当者が地域に密着して推進する、自発的で協働的な被災軽減の活動を言います。前項目で述べた個人で行う防災に加え、自主防災組織など地域全体が防災能力を身につけることで地域防災力は一層高まります。

## 地域防災力を高めよう



▲普通救命講習会（山陰東教区花園会青壮年会）



▲消火訓練（朝来市八代区）

みんなの町は、みんなで守る！

住民の皆さんの中には災害時、自力での避難が通常の人より難しく、避難行動に支援を要する、災害弱者と言われる方が大勢います。非常時

これらへの参加者は年々増加しており、住民の皆さんの防災意識の高揚が伺えます。しかし、防災訓練は繰り返し実施しなければなりません。日頃から訓練を行い、必要な技術は身をもつて覚えることが大切です。



▲消火訓練（朝来市立脇区）

災害に強い地域づくりを進めましょう。  
『みんなの町は、みんなで守る！』

地域の皆さんがあえず連携し、「防災」という同じ目標に向かつて協力し、地域が一つになつて取り組んでいただきたいと思います。

における災害弱者への支援は地域社会にとって最も重要な課題の一つです。日頃から災害弱者とコミュニケーションを行うことが大切です。地震などの大災害だけではなく、日常の火災予防にも、地域が一つになつて取り組んでいただきたいと思いま

# 秋の火災予防運動（11/9 ~ 11/15）

## 一日消防官による防火呼びかけ

◆火災予防運動期間前の11月6日に、養父・朝来両市の女性消防団員4人と両市キャラクターたちに「一日消防官」をお願いしました。



▲4人の消防官とキャラクターたち

一日消防官をお願いしたのは、写真左から桝尾友里さん、岩見ちはるさん（以上養父市）、足立美香さん、田中美幸さん（以上朝来市）です。養父市イメージキャラクターの『やぶからぼうや』と朝来市公認マスコット『たけじい』も



▲防火クイズ（山口こども園）

『やぶからぼうや』も『たけじい』も園児たちに大人気で、キャラクターとふれあいながら防火について考

えつけ、一緒に防火を訴えました。

消防長から辞令交付を受けた後、太陽保育園と山口こども園に別かれて訪問し、園児たちに火災の怖さを学んでもらう防火クイズを出題し、○×で答えてもらいました。園児たちは防火クイズに頭をひねりながら、元気いっぱいに答えていました。

園児たちは防火クイズを出題し、○×で答えてもらいました。園児たちは防火クイズに頭をひねりながら、元気いっぱいに答えていました。

終了後、4人の皆さんに感想を伺うと「防火クイズは園児たちからの反応もこちらに直に伝わるなど、防

火を呼びかける方法として最適で、クイズを楽しんでもらいました。『火の怖さ』や『煙の危険性』だけではなく、火災から身を守る方法などを伝えたりました。

自分自身も勉強になりました」と言つておられました。



▲太陽保育園のみなさん

# 消防ふれあい祭り

11月15日、養父市上筒Yタウン駐車場で、「消防ふれ

あい祭り」を開催しました。

会場では、はしご車乗車

体験や水消火器を使った消

火訓練、また、消防車両や住

宅用火災警報器等の防災物

品の展示、自動体外式除細

動器（AED）の体験コーナーなどを設けたほか、防火

風船や防火ハンガーチ等の広

報物品を配布しました。小

雨が降るなどあいにくの天

候となりましたが、多くの

ちびっ子が、はしご車に乗

車し、はしごの高さを体験



▶はしご車の体験乗車

しました。

他のコーナーでは、消防車・救急車内の見学や車両をバックに写真撮影する親子連れの姿、訓練用の水消

火器で使い方を体験する人などを、多くの人たちとふれあうことができた一日となりました。

回を重ねることに盛況になる消防ふれあい祭りを通して、少しでも防火・防災に关心を持っていただければと思っています。



## 16消防出初式



1月8日、新春を迎えるにあたり、多くの来賓や保育園児が見守る中「消防出初式」を開催しました。出初式では南但地域の一年間の無火災と住民の皆様の安全・安心を願うとともに、訓練を通じてさまざまな災害に立ち向かう「南但消防」の勇姿を披露しました。



▶ 防災ヘリ連携訓練



▶ 一斉放水訓練



▶ 消火器取扱い訓練  
(山東町小谷区)



観閲の部では、車両7台、人員30名が部隊指揮者の指揮のもと小隊ごとに車両前

に整列、消防車両の赤色灯を点灯させ観閲者による部隊観閲を受けました。

救助訓練の部では、「地震で倒壊した5階建の消防ビル内に要救助者が取り残されている」という想定で訓練がスタート。救助隊員に

げるホイスト救助が行われました。

最後に消防隊が大空に向け9線一斉放水を行い、南但消防本部初の女性消防隊員がロープ渡過訓練を締めくくりました。

訓練は、いずれも地区住民を対象とした消防教室に引き続き実施したもので、遠距離中継送水や夜間における消防活動を通じて、消防団との連携強化を図ること

8日、山東町小谷区で林野火災を想定した朝来市消防団山東支団との合同訓練を行いました。また、翌9日には和田山町藤和区で、建物火災を想定した朝来市消防団和田山支団との合同訓練を行いました。

今後も消防団とは、車の両輪のように、連携して現場活動に臨まなければならぬと改めて感じました。

## 秋の火災予防運動合同訓練

より倒壊したビルへ斜めが取り残された要救助者を無事に救出し、救急隊に引き継ぎました。また、兵庫県消防本部から派遣される航空救助隊員によるラペリング降下の披露に引き続き、要救助者をヘリに吊上げる

火災予防運動直前の11月8日、山東町小谷区で林野火災を想定した朝来市消防団山東支団との合同訓練を行いました。また、翌9日には和田山町藤和区で、建物火災を想定した朝来市消防団和田山支団との合同訓練を行いました。

訓練とおりました。特に藤和区での訓練では女性消防団員の活躍もあり有意義な訓練となりました。

さらに火災予防運動最終日の15日には、養父市丹戸の鉢伏高原で養父市消防団関宮方面隊との合同訓練を実施し、消防活動における意志の疎通を図りました。

今回の全ての訓練を通して、車の両輪のように、連携して現場活動に臨まなければならぬと改めて感じました。

# 消防写真館



おもなじやうと



消防教室

(10月15日 やなせ保育園)

未来の消防士達が今年入った消防士達と一緒に水消火器を使い、的を倒す練習をしました。



消火訓練

(10月1日 デイサービス未来)

消防器取扱い訓練を行いました。職員の方とともに利用者の皆さんも消防器の取扱いについて、学ばれました。



救急教室

(10月28日 朝来市シルバー人材センター)

もしもの時に備え、応急手当や心肺蘇生法などを積極的に学ばれました。



防火研修会

(10月16日 南但危險物安全協會)

南但危険物安全協会の防火研修会が消防本部で行われました。燃焼皿を使用した消火訓練では、危険物火災の消火の難しさを体験されました。

※昨年に引き続き件数増加  
救急件数は3046件、  
搬送人員は2759人とな  
りました。前年と比較する  
と出動件数で40件、搬送人  
員で28人増加しています。

救急

種別	署別	総 数	朝来署	養父署
総 数		31 (32)	18 (19)	13 (13)
建 物		17	9	8
林 野		1	1	0
車両		2	1	1
その他		11	7	4

( )内は前年件数

※大きな建物火災が発生

火  
災

署別 種別	総 数	朝来署	養父署	管 外
総 数	3,046 (3,006)	1,532 (1,554)	1,511 (1,457)	3 (5)
急 病	1,743	898	845	0
交通事故	268	155	110	3
一般負傷	502	262	240	0
その他	533	217	316	0

( )内は前年件数

( )内は前年件数

平成27年  
1月～12月

平成27年  
1月～12月



### 消防訓練（12月4日 シルバー生野）

文化財を多く保有する施設で消防訓練を行いました。設置されている消防用設備等の確認と消火訓練を行いました。



### 防火研修会（11月12日 南但地域旅館・ホテル）

秋の火災予防運動関連行事として、宿泊施設を対象とした防火研修会を実施しました。

近年発生した火災の概要や消防法令の改正内容を説明した後、各施設に設置されている消火器や屋内消火栓などを実際に取扱う訓練を行いました。



### 特別查察

（11月・12月 大型商業施設他）

年末に向かい多くの集客が予想される商業施設に対し特別査察を行い、避難管理や防火管理について指導を行いました。



### 消防訓練

（12月16日 出合幼稚センター）

避難訓練の後、消火器の取扱い訓練を行いました。訓練中、園児達は先生が真剣に訓練している様子を見つめていました。



### 消防教室（12月5日 新井3区）

副区長兼防災委員の方が防火や住宅用火災警報器の話をされた後、消火器や消火栓の取扱い訓練を行いました。

冬を迎えるにつれて、寒さが厳しくなる季節となりました。それに伴い石油ストーブを使用する頻度も増え、石油など危険物を取扱うことも多くなると思います。石油類は引火点によつて第一石油類から第四石油類に分類されており、灯油は第二石油類（一気圧において引火点が21度以上70度未満）に分類されます。また、皆さんの身近にある危険物としてガソリンもあります。ガソリンは第一石油類（一気圧において引火点が21度以下）に分類されており、引火点はマイナス43度以下で炎を近づけた時に非常に着火しやすく爆発的に燃焼するため取扱いにはより注意が必要です。昨年には枯草を焼却する際に、よく燃やそうとガソリンを含んだ混合油を掛けた結果、予想より火が大きくなり火傷を負ったという事案がありました。このように取扱いを誤ると非常に危険で火災になるケースもあります。また、「誤給油」にも注意が

冬を迎えるにつれて、寒さが厳しくなる季節となりました。それに伴い石油ストーブを使用する頻度も増え、石油など危険物を取扱うことも多くなると思います。石油ファンヒーターに混合油を誤って給油し火災に至つたという事案もあります。

## 火災調査レポート

### 危険物の取扱いには注意しましょう！



皆さんも灯油等の使用方法や保管方法を確認し合い、身も心も暖かい冬を過ごし、心地良い春を迎えましょう。

危険物には、保管方法が消防法で定められています。風通し、換気を良くした冷暗所に、灯油は「専用ポリ容器」、ガソリンは「ガソリン携行缶」にしつかりと密封し保管しますよう。正しい保管することで誤給油を防ぐことができます。

必要です。「誤給油」とは、灯油を燃料とする石油ストーブにガソリンを給油すると、いつものことです。数年前には石油ファンヒーターに混合油を誤って給油し火災に至つたという事案もありました。

## お知らせ

### INFORMATION

#### ◆住宅用火災警報器の維持管理について

平成18年の住宅用火災警報器の設置義務化からまもなく10年が経過しようとしています。皆さんのお宅では、いつ設置しましたか？

住宅用火災警報器は一度設置すれば、いつまでも使用することができるといふものではありません。

これは、女性職員が当直勤務を行う場合、男性のみの職場において、快適に職務に専念できるよう整備したもの

#### ◆厅舎増築

平成27年度の女性消防職員採用に伴い、女性職員用の待機室を消防本部朝来消防署に増築しました。



▲待機室

#### ◆普通救命講習

室内には、指令放送スピーカーとインターホンがあり、待機中であっても夜間の出動や交代勤務に備えます。また、待機室に加え、シャワールーム、洗面所等を整備し、訓練や現場活動後の衛生面にも配慮しています。

消防署並びに消防団では、4月の1カ月間、山火事防止運動を開催します。

#### ◆山火事防止運動

3月1日から3月7日までの1週間、全国一斉に春の火災予防運動を実施します。朝来消防署、養父消防署ともに火災ゼロに向、万全の態勢で臨みます。

#### 編集手帳

ストーブは但馬の冬を乗り切るためにには、なくてはならない暖房器具です。しかし、使用方法を誤ると大切な財産だけでなく、人命までも奪いかねません。安全に使用して、火災を未然に防ぐには？

- ①ストーブの上部に洗濯物を干さない。（周りに燃えやすいものを置かない。）
- ②給油は消火してから行う。
- ③ストーブの燃料は灯油を使い、給油前に確認する。
- ④燃料タンクのフタはしっかりと締めてから本体に戻す。

また、電気ストーブの火災は、就寝中に寝返りを打ち布団が接触するなどの原因で、数多くの火災が発生しています。ストーブの取扱いには十分注意して、寒い冬を乗り切りましょう。

(3)

## ゴローくん



NANTAN  
119だより

#### NANTAN 119だより第9号

2016年2月1日発行（年3回発行）

■発行・編集  
南但消防本部予防課  
兵庫県朝来市  
和田山町枚田436-1  
■TEL 079-672-0119  
■FAX 079-672-5046

南但消防本部

